

◆ 序	岡田 岳	3
◆ 本書の主な特徴・本書の使い方		8

序章

1. 症例レポートの書き方	岡田 岳	14
2. 症例レポート作成に役立つツール	照井林陽	21
◆ 付録1 症例報告書の書き方例	照井林陽	25
◆ 付録2 症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針		28

第1章 身体障害領域の症例レポート

1. 脳出血・急性期（左片麻痺、左半側空間無視）	田山麻子	30
● Before		31
+ α 知識 ①バイタルサイン（血圧管理）／②Anderson（アンダーソン）の基準の土肥変法（リハ中止基準）／③「リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン」（リハ中止基準）／④バイタルサインチェック時の注意／⑤BIT（Behavioral Inattention Test）：BIT行動性無視検査日本版／⑥生活行為向上マネジメント（Management Tool for Daily Life Performance：MTDLP）		
● After		41
2. 脳出血・回復期（左片麻痺、高次脳機能障害）	長谷川明洋	45
● Before		46
+ α 知識 ①筋緊張の評価（Modified Ashworth Scale：MAS）／②脳卒中で用いられる一般的な高次脳機能検査とテストバッテリー／③動作分析の一例／④左半側空間無視へのアプローチ法		
● After		57
3. 脳梗塞・回復期（右片麻痺、失語、失行）	大館哲詩	61
● Before		62
+ α 知識 ①失語症状の分類／②非言語コミュニケーションの種類／③観念失行、観念運動失行以外の行為の障害／④作業遂行観察のコツ		
● After		75
4. くも膜下出血（高次脳機能障害に対する作業療法）	中川雅樹	80
● Before		81
+ α 知識 ①基本的な評価手順／②くも膜下出血の主な原因／③記憶の種類と分類／④外的補助具		
● After		91

5. 橈骨遠位端骨折	田上 永	96
● Before		97
+ α 知識 ①画像所見		
● After		106
6. パーキンソン病	大野 雄	110
● Before		111
+ α 知識 ①Hoehn & Yahr (ホーエン・ヤール) の重症度分類、パーキンソン症候群の主要病型／②生活機能障害度分類／③UPDRS (Unified Parkinson's Disease Rating Scale) ／④TUG (Timed Up and Go) ／⑤運動合併症		
● After		124
7. 頸椎症性脊髄症	徳田継祐	130
● Before		131
+ α 知識 ①パーデューペグボードテスト (Purdue Pegboard Test) ／②オコナー巧緻テスト (O'Connor Finger Dexterity Test)		
● After		141

第2章 精神障害領域の症例レポート

1. 統合失調症 (妄想型、病棟)	須藤智宏	148
● Before		149
+ α 知識 ①ストレングスマodel／②質問法／③興味関心チェックシート／④意志質問紙 (Volitional Questionnaire : VQ) ／⑤気分と疲労のチェックリスト (Inventory Scale for Mood and Sense of Fatigue : SMSF) Ver.2		
● After		159
2. 統合失調症 (破瓜型、デイケア)	菊池大典	164
● Before		165
+ α 知識 ①就労移行支援事業所 (移行支援) ／②地域活動支援センター (地活) ／③GAF (Global Assessment of Functioning : 機能の全体的評定尺度) ／④就労継続支援A型 (継続A) ／⑤就労継続支援B型 (継続B)		
● After		174
3. 統合失調症 (精神発達遅滞合併)	新井孝行	178
● Before		179
+ α 知識 ①特別支援学級／②WAIS-Ⅲ [Wechsler (ウェクスラー) 成人知能検査 改訂第3版] ／③田中Binet (ビネー) 式知能検査／④Kohs (コース) 立方体組み合わせテスト		
● After		187
4. 現代型うつ病	横田 維	191
● Before		193
+ α 知識 ①うつ病自己評価尺度 (Self-rating Depression Scale : SDS) ／②ハミルトンうつ病評価尺度 (Hamilton Rating Scale for Depression : HAM-D)		
● After		203

第3章 高齢期障害領域の症例レポート

1. 認知症	長井陽海	210
● Before		211
+ α知識	①意欲の指標 (Vitality Index) / ②老年期うつ病評価尺度 (GDS15) / ③障害高齢者の日常生活自立度 (寝たきり度) / ④認知症高齢者の日常生活自立度 / ⑤Anderson (アンダーソン) の基準の土肥変法 / ⑥Karvonen Formula (カルボーン法)	
● After		220
2. 大腿骨頸部骨折	鈴木俊弘	224
● Before		225
+ α知識	①大腿骨頸部骨折の作業療法 / ②人工骨頭置換術の手術アプローチによる脱臼部位の違い / ③深部静脈血栓症 (Deep Vein Thrombosis : DVT) / ④血清アルブミン値 (Alb) / ⑤大腿骨頸部骨折 (人工骨頭置換術) 後の痛み / ⑥N式老年者用精神状態尺度	
● After		237

第4章 発達障害領域の症例レポート

1. 脳性麻痺	石田麻子	242
● Before		243
+ α知識	①粗大運動機能分類システム (Gross Motor Function Classification System : GMFCS) / ②把握・つまみの発達 / ③道具操作の発達 / ④視知覚検査	
● After		253
2. 発達障害	中山泰哲	257
● Before		258
+ α知識	①マイルストーン / ②新版K式発達検査 / ③防衛反応と感覚経路 / ④中心視と周辺視 / ⑤身体図式 (Body Shema) / ⑥知覚運動水準、パターン知覚水準 / ⑦注意機能 / ⑧構造化	
● After		269
◆ 略語一覧		273
◆ 索引		276
◆ 編者 Profile		279